

組合基本方針 組合の団結と調和 日本一の工業団地を目指す！

新年のご挨拶



流山工業団地協同組合 理事長 洞下 英人

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より組合活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2020年1月より始まった新型コロナウイルス感染症は3年目に入り、日本国内においては第7波までに及ぶほど感染者は増加し猛威を振るいました。依然として社会活動に大きな影響をもたらしておりますが、ウイズコロナ対策と緩和策により経済活動は少しずつ安

定を取り戻してまいりました。一方、世界経済においては混乱と停滞に悩まされた一年でありました。原油をはじめとする原材料の高騰、半導体などの供給不足、これに急激な円安が拍車をかけて、あらゆる製品の値上げが急ピッチに進みました。各企業は、価格調整などの対応を余儀なくされ、当組合の主事業である電気事業においても価格が30%以上も上昇し、組合員の皆さまに多大なご負担をかけてしまう状況となっております。また、当組合の2大課題である『高圧受電容量の拡張』と『組合員の駐車場拡充』の解決につきましても、思うような進展に至りませんでした。理事長就任一年目は、こうした苦境と忍耐の一年ではありましたが、大過なく新年を迎えることができましたのも、組合員の皆さまの誠意あるご協力のお陰と、心より感謝いたしております。

本年2023年は、組合員同士のさらなる共同活動はもとより、新川耕地周辺の物流センターとの情報交流を密に展開して、地域の発展と活性化を目指すとともに、この変革期を乗り切り次世代へと繋いでまいりたいと考えております。引き続き、組合活動へのご協力を賜り、各企業の皆さまのご多幸と益々のご繁栄をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

組合年度方針

新体制による組合運営強化

組合と新川耕地の経済と雇用の発展

新たな方法による共同事業の検討

新型コロナウイルス感染症に関する対応と各種情報の提

新年ご挨拶

流山市長 井崎 義治

新年あけましておめでとうございます。

流山工業団地協同組合の皆様方におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の確認から3年が経過し、重症化率は低下しつつありますが、感染状況は一進一退を繰り返し、人々の暮らしに大きな変化をもたらしています。

また、コロナ禍以外にも、社会情勢の変化に伴っての燃料価格や原材料費の高騰、円安や最低賃金の大幅アップなど、製造業をとりまく経営環境は厳しい状況が続いており、収益確保に向けた事業の改善や再構築といった対応に追われる多忙な一年となったものと存じます。

日本経済は長年にわたってデフレ状態が続いてきましたが、政府は昨今の物価の上昇を受け、企業による賃金引き上げに向けた対応を期待しているところであります。

強固な絆を持つ皆様の強みを生かし、新たなビジネスの展望を開かれることをお祈り申し上げます。

結びに、市内製造業のトップ集団「流山工業団地協同組合」の皆様の一層のご活躍、ご発展と皆様のご多幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



流山商工会議所 会頭 田口 佳子

新年あけましておめでとうございます。

流山工業団地協同組合の皆様には、会議所運営にご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。2022年11月1日の臨時議員総会におきまして、新役員体制が発足、会頭職二期目を務めさせていただくこととなりました。微力ではありますが尽力して参りますので、尚一層のご支援、ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

コロナ後を見すえながら経済活動が進められております。先行き不透明な時代ではありますが、柔軟に対応し、工業団地協同組合の皆様が強みを武器に、変化に強い事業を進められていかれます事をご期待申し上げます。

日本商工会議所は11月17日臨時総会を開催し、小林健東京商工会議所会頭（三菱商事相談役）を第20代会頭に選出しました。新たなる出発とし、「日本再生、変革に挑む～志を高く、新しい時代を切り拓く～」と表明されました。流山商工会議所と致しましては、コロナ後の様式の変化に合わせ、デジタル化の推進による生産性向上、地域発展への貢献、経営指導員による経営支援、事業承継再構築等進めて参ります。「流山新川耕地事業者情報連絡協議会」には、大規模物流施設が稼働する中、引き続き、今後も事務局として地域の発展に貢献していただき度、よろしくお願い申し上げます。結びに、貴組合の益々の発展をご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

製造原価計算講習会



2022年10月12日、26日の2日間、流山工業団地組合会議室にて業務のDX化に向けて「原価管理とDX企業経営」と「DX導入のための業務改善」のテーマで有限会社アイ・リンク・コンサルタント 代表取締役 中小企業診断士 加藤忠宏 氏を講師に迎え実施されました。

今回の講習で、製造業では原価の管理の重要性について改めて認識させられました。

原価には三要素があり、材料費（加工対象の原材料費）、労務費（工員の賃金）、経費（光熱水道料など）にわけられます。

それらの三要素の原価の中で、直接費（直接生産に賦課される原価）間接費（減価償却のように直接製品に賦課されていないことが多い原価、どの部門かわからない費用）の二つに分類することができます。

一言に原価と言っても、これだけ細分化することができ、現状どこまで正確に細分化できているのかという点が課題として挙げられました。

また、費用には固定費（売上高とは無関係に発生する費用）と変動費（売上高に比例して一定割合発生する費用）という考え方があり、費用と売上高とが等しくなる時の売上高のことを、損益分岐点売上高（Break Even Point）といい、売上高が損益分岐点以下に留まれば損失が生じ、それ以上になれば利益が生じるというものになります。

上記の点をDX化するにあたって、システムを導入することにより従来は手作業で管理していた、原価や時間データの集計業務をCSV出力したデータを元に、Python（パイソン）による自動計算でできることを、ご教授頂きました。

今回の講習会を受講し、今後DX化を進めることは日々の業務を正確に効率よく進める為に急務であると感じました。

マックスプル工業㈱ 吉岡 大樹

◆ 販促手段としてのPRと攻略法 ◆

セミナーに参加して、「なるほど」と思うキーワードがいくつもある、非常に有意義なセミナーでした。今まで、マーケティングをしてきた中で、顧客層別に考えた活動をほとんど行っておりませんでした。どのようなマーケティングをするにも、顧客ニーズをリサーチし、ターゲットとする顧客のタイプ、テーマを決めることが重要と理解しました。



今回、「2次利用マーケティング」の中では、テレビで使用する動画制作から、その動画をあらゆる媒体で2次利用することで、潜在顧客、顕在顧客へPRし成約率向上が期待できるとわかりました。営業ツール、ホームページ、ブログ、SNS等あらゆる媒体で利用することで、動画の有用性が広がると理解しました。

また、「売上があがる37のアプローチ」を教わり、当社において実行していることもあります。取り入れるべき方法の中にはあり検討すべきことが多いと痛感しました。

当社は製造メーカーであります。商品の販売をする中で、顧客の記憶に残るフレーズづくりが不得意であり、決めきれないことが多くあります。事例に挙げたフレーズづくりの手法を活用させていただき、顧客の五感に訴えるフレーズを作りたいと思います。

セミナー開催にあたり、尽力していただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

サンコーテクノ㈱ 大戸 宏康

講習会「Youtubeの動画を利用したPR」を受講して



営業として入社してから20数年が経過しましたがその間に手書きで処理していたものがExcelやWordになり対面や電話での顧客のやりとりがメールや、Zoomなど技術革新によってどんどん様変わりしてきました。

その中で、組合主催での「YouTube動画を利用したPR」の講習会を受講する機会を頂き動画の可能性に興味があり参加いたしました。

当社でも【百聞は一見に如かず】にて新規顧客等には工場見学をして頂き実際に見て頂いて、当社の事や商品を知って頂きました。

コロナ禍にて行動制限が緩和された現在でも工場見学は厳しい状態が続いております。

特殊な機材が無くても気軽にスマホ1台で撮影から編集まで出来る事に驚嘆し、普段気軽に見ているYouTube動画には様々な映像テクニックや、タグを付けての閲覧誘導など技術の塊であるとの話を伺い、動画を利用したPRの可能性を感じました。

当社で扱っていますグラビア印刷や製袋等、どの様に作られているのか？

まだまだ知らない人が多いと思います。動画での工場見学など含めて今後当社でも取り入れて行きたいと感じました。

動画ではありませんが、当社のHPを2022年秋に一部リニューアルしました。

コロナの影響もあり構想から一年近く経過しましたが、概ね好評です。

静止画ですが…皆さんも是非ご覧ください。

<https://www.kk-marutaka.co.jp/>

㈱マルタカ 営業部 佐藤 栄治

インボイスの概要及び電子帳簿保存法」の講習会



12月7日「インボイスの概要及び電子帳簿保存法」の講習会を受講させていただきました。どちらも最近、企業の経理システムのCM等で耳にする機会が増えてきた言葉です。

実際に私たちの仕事に大きく関わり、色々と変化をしていかなければなりません。

そして時には面倒な事案をもたらしかねない制度だと感じます。

しかし細かい内容まで理解できている人がどれだけいるのでしょうか。

とくにインボイスについては電子帳簿保存法のように自社努力や工夫次第でなんとか対応できるものとは異なり、取引相手との関係状況が必ず関わってきます。

たださえ複雑な制度内容に加えて変更の多い経過措置。弊社にも日々お世話になっているフリーランスのベテラン職人さん（免税事業者）の方が何名かいらっしゃいます。その方々から年齢の事もあり今後を色々と考えてしまうという話を聞くと、一体何の為にあるのか…と残念な部分の多い制度に改めて疑問を持たざるを得ません。

講習会でも、税理士会から要望を出しているがどうなるか～という先生のお話からも制度の中で本決まりではない箇所があり、まだまだ改善が必要なところや変更事項が多そうだと感じました。

インボイス制度は今年2023年10月1日開始、電子帳簿保存法は今現在宥恕措置期間であり、来年2024年1月1日から電子取引情報保存の完全義務化となります。

準備万端で迎えたいものですが、少しでも負担の少ない方向に向かってくれますようにと切に願うばかりです。

㈱長浦製作所 河本 桂子

組合懇談会 開催



平素は、組合事業にご協力いただきありがとうございます。総務委員長の小野でございます。

去る2022年10月21日に組合員様との懇親会を『あずみ野』にて開催の折は、多くの方のご出席を賜り、誠にありがとうございました。元々は、毎年8月に行われている『暑気払い』が新型コロナウイルス新規感染者数の第7波ピークと不幸にも重なり、開催延期となっていたものでした。開催日の10月も完全には第7波が収束しておらず、この時期に懇親会を実行して良いもの

か迷いはありましたが…。

結果、組合員様との懇親会を3年ぶりに開催して良かった!!やはり流山工業団地協同組合の懇親会は楽しい。皆様と有意義な意見交換をすることができ、時間を忘れて会話とお酒を楽しめました。勿論、「お酒のお替りはコンパニオンに必ず頼む事。」や「岡社長五条」など徹底した感染予防を講じての結果であります。

2023年も新型コロナウイルスとの闘いは継続していきますが、皆様の知恵と多大な協力を得て少しずつでも日常を取り戻す様、組合事業を進めて参りたいと存じます。

マックスプル工業(株) 小野 幸一

野田、柏、流山三団地交流ゴルフコンペの開催

令和4年10月1日(土) 千代田カントリークラブにおきまして、令和1年9月の開催以来3年ぶりに三団地交流ゴルフコンペを開催することができました。

残念ながらパーティーは、感染者数も多かったため開催することができませんでしたが、3年ぶりに楽しいゴルフコンペを開催させていただきました。

成績は

団体優勝 野田工業団地協同組合

個人優勝 熊本 忠夫氏 (流山工業団地協同組合)

以上の通りでした。

開催にあたりご協力いただき、ありがとうございました。



今回、「柏・流山・野田三団地交流ゴルフコンペ」の参加者代表として一言ご挨拶、御礼を述べさせていただきます。まずは幹事の労を担っていただいた流山工業団地さんに御礼を申し上げます。

このコンペは、10年を超え開催されてきましたが、新型コロナの感染状況の落ち着きを考慮し、令和元年9月以来の開催となり、大変うれしく思った限りです。当日は気温が約30度近くまで上がる真夏を思わせる天候でしたが、全4組の参加された方と懇親を深めることができました。結果は当組合が優勝となりましたが、順位は別として次回も今回同様、楽しい時間を過ごせればと思っています。

最後に、今後も当組合へのご支援、ご協力を賜りますようお願いするとともに、柏・流山両団地の益々のご繁栄を祈念して御礼の言葉とさせていただきます。

野田工業団地協同組合 青年部 部長 木村 貴志

千葉県事務局責任者協会視察研修

令和4年12月2日（金）に、千葉県事務局責任者協会並びに千葉県中小企業組合士会の合同による「組合・企業視察研修」で当組合を視察していただきました。

当組合では、大塚副理事長より歓迎の挨拶をさせていただいた後、組合概要、事業内容、組合の抱える課題について説明し、団地内の駐車場、共同受電設備等の施設を見学していただきました。

バスにより移動し、流山工業団地に隣接する物流施設 GLP ALFALINK流山8を日本GLP(株) 内藤シニアマネージャーにご案内していただき、最先端技術の顔認証システムを導入している入退場ゲート、従業員の休憩室、屋上にあるミニ展望台等内部の施設、そして外部にも開放されている無人売店、シャワールーム、食堂、カフェテリアも見学させていただきました。

外部に開放されている部分については、物流施設は一般的に閉鎖的なイメージが強いので、外部の方にも施設を利用していただき、物流施設のイメージを変えるための取組みとの説明をしていただきました。



編集後記

この編集後記を書いている現在、12月最後の週。早いものでもう2022年が終わろうとしています。今年起こった主なニュースは何かと検索してみました。

1月：日経平均株価27,001.98円。2月：ロシア軍のウクライナ侵攻。7月：安倍元首相、銃撃され67歳で死亡。10月：原材料や円安の影響を受けて物価高騰となり値上げラッシュ。1990年8月以来約32年振りの150円台で円安水準を更新。コロナ対策で政府が水際対策を緩和し、訪日客が増加。11月：サッカーワールドカップカタール大会で、メッシ率いるアルゼンチンが優勝、日本代表は決勝トーナメントに進み、三苦の1mmでブラボーな最終順位9位。そしてサッカーJリーグ・柏レイソル7位フィニッシュ。12月：コロナ感染拡大以降、一部の都県で初のインフルエンザ流行期入り。そして、日経平均株価は、1月27,001.98円で、12月は26,094.5円との事。2023年は卯年なので、株価が跳ねると期待されるがいかに。

菊地 潤

流山工業団地協同組合

編集・発行：におどり次世代会

〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-46

☎ 04(7153)3001